

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習3③							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験	
鍼灸学科・昼間部	3年	3期	大橋 理那				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	総合領域		座学	1	10		
科目概要							
鍼灸師として必要な疾患の知識を定着させ、鑑別ができる応用力を身につけるため、1、2年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心として、教科を横断した学習を行う。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸師として患者の異常な状態を評価・鑑別できるようになるために、解剖学・生理学の知識を深め、人体の正常な構造と機能を複合的に学習し、知識の定着と応用力を身につける。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.神経系について理解し、選択肢の中から適切な答えを導き出すことができ、誤答についてはどこが間違っているのかを説明できる。 2.感覚器系について理解し、選択肢の中から適切な答えを導き出すことができ、誤答についてはどこが間違っているのかを説明できる。 3.運動器系について理解し、選択肢の中から適切な答えを導き出すことができ、誤答についてはどこが間違っているのかを説明できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学・生理学・臨床医学各論							
教科書・参考書							
・教科書：東洋療法学校協会編 解剖学 第2版 ・教科書：東洋療法学校協会編 生理学 第3版							
受講上の注意							
本講義に必要な知識は既に1,2年次に学んでいます。わからないことがあればそのままにせず、まず自分で考え、調べ、理解する姿勢で取り組みましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェクテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	神経系			解剖p116-146 生理p164-215	教科書・筆記用具		
第2回	神経系			解剖p116-146 生理p164-215	教科書・筆記用具		
第3回	神経系			解剖p116-146 生理p164-215	教科書・筆記用具		
第4回	神経系			解剖p116-146 生理p164-215	教科書・筆記用具		
第5回	感覚器系			解剖p148-158 生理p250-276	教科書・筆記用具		
第6回	感覚器系			解剖p148-158 生理p250-276	教科書・筆記用具		
第7回	運動器系			解剖p160-316 生理p228-248	教科書・筆記用具		
第8回	運動器系			解剖p160-316 生理p228-248	教科書・筆記用具		
第9回	総復習と問題演習			解剖p116-316 生理p164-248	教科書・筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
ohashi@nihonisen.ac.jp							